卒業研究 (Graduation Research)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担　当
機械電気	必修	5 年	8	研究	機械電気工学科全教員

【授業の概要】
高専の 5 年間にわたる一般教育・専門教育の総仕上げとして、各分野の調査・実験・解析・考察などを通じて、自主的研究能力あるいは創造的開発能力を養成するとともに、論文をまとめる能力を養う。高専教育の中で最も重要な科目として位置づけている。

【授業の進め方】
4 年次の工学セミナーにおけるテーマを再確認した後、それに継続する形で、文献調査、資料収集、研究計画作成、装置製作、実験・解析、考察を行い、卒業論文としてまとめ、発表する。卒業論文は論文集としてまとめ、発行する。

【授業の概要】

【年間スケジュール】
4 年次の工学セミナーにおけるテーマの再確認

中間発表会 (10 月頃)

卒業論文の提出（2 月頃）

卒業研究発表会 (2 月後半)

※　配　属　先　※

▼材　料　系　材料力学　（森野）
工　　作　（伊藤）
材料工学　（西村）
計算力学　（小田）

▼エネルギ系　流体工学　（藤田、張間）
熱工学　(池田)
理論物理　（飛車）
基礎物理　(三浦)

▼計測制御系　電子制御工学　(牧野)
機械力学　（桜本）
応用物理　（石田）
情報機器学　（藤本）
環境計測　（北村）
計測制御工学　（森崎）
超音波工学　（鈴木）

【到達目標】	自主的・継続的な研究を行い、途中経過を中間発表会、ポスターセッションで報告すること。定められた様式の卒業論文を提出し、卒業研究発表会で発表すること。		
【徳山高専学習・教育目標】	B2	【ＪＡＢＥＥ基準 1(1)】	g
【評価法】	卒業研究については以下の項目に基づいて総合評価する。１　発表評価　（イ）発表態度（質疑応答も含む）（１０％）　（ロ）パワーポイント表現力（１０％）　（ハ）中間発表（ポスター作成および発表）（１０％）２　論文評価　（二）自主的な取組みに対する評価（２０％）　（ホ）卒業研究論文（５０％）上記項目に対する評価の合計を最終成績とする。ただし、（イ）（ロ）の 2 項目については全教員の平均値とする。		
【テキスト】	徳山高専機械電気工学科卒業研究論文集（平成 6 年度第 1 号～平成 21 年度第 16 号）		
【関連科目】	機械電気工学科開設全科目		
【成績欄】	前期中間試験　前期末試験　前期成績　後期中間試験　後期末試験　学年末成績 【　　】　【　　】　【　　】　【　　】　【　　】　【　　】		